



おやこ通信

第18号



子どもは突然思いがけない行動をとることがあります。危険なものは身近に置かないように心がけましょう。でも、万が一事故につながってしまったら、早めの対応ができるようにしたいですね。

<異物を吸い込んだ>

物が上部にとどまっていると、激しく咳込んで異物を出そうと反応しますが、気管支の方まで入ってしまうと、むしろ咳込まなくなってしまいます。これが異物があるのに見逃してしまう要因です。

飲み込んだものが特にナッツや豆類などの場合、そのままの状態にしてしまうと呼吸ができなくなったり、気管支の奥で炎症が起きたりします。細菌感染のおそれもありますので注意が必要です。また、こうした異物はレントゲンには映りにくいのも特徴です。そのため、どこに異物があるのかが特定しにくく、しかも割れやすい物なので、簡単に取り出すことができません。全身麻酔をかけ、特殊な道具を使って異物を取り出すこととなります。ナッツ類を吸い込んだ疑いの強い場合は事前に伝えておきましょう。小さなお子さんにはナッツなど食べさせないように、また、大人が周りで食べないようにしましょう。



<のどに骨が刺さった>

のどに骨が刺さったとき、昔は「ご飯を丸のみすればとれる」と伝えてきました。たまたまその方法で抜ければよいのですが、表に出ている部分だけ折れて、粘膜に骨の一部が残ってしまうということもあるのです。こうなると、取り除くのは難しくなりますし、痛みもなくなります。子どもが「のどに骨が刺さった」と訴えてきたら、まずのどをのぞいて見てください。明らかに指が届く位置に刺さっていたら指で抜いてください。

もし指が届くか、届かないか微妙な位置だったり、1回で取れなかったりした場合は、無理をせず病院へ受診し、取り除いてもらいましょう。その場合には耳鼻科に行くのがよいでしょう。



<目に異物が入った>

小さいゴミなどなら、洗面器に水を張り、そこで顔を付けて目をパチパチさせれば落とすことができます。水に顔を付けたり水中で目を開けることができない子どももいますが、そんなときは、目頭を押えると自然に涙が出てくるようになるので、涙といっしょに流してしまいましょう。それでもだめなら目薬を使ってみてください。薬品や洗剤などが目に入ってしまった場合には、流水で目を洗い流してしまうのが一番よい方法です。

<鼻に異物が詰まってしまった>

外から詰まった物が見え、つまみ出せそうなら指で慎重につまみ出してください。つまみ出すのが難しそうなら、反対側の鼻の穴を刺激して、くしゃみを誘うという方法もあります。5歳以上の大きな子なら、フンと鼻をかませてもいいですね。それでも取れないとき、あわてて無理やりにピンセットなどで取り除こうとする保護者の方がみえますが、ピンセットは金属ですからどんなに注意深く取ろうとしても、鼻の粘膜を傷つけるおそれがあります。また、奥に押し込んでしまう結果になることもあり、危険ですので、病院で取ってもらいましょう。

お鼻に入れたくなっちゃうの



ビー玉やBB弾は
要注意ね！！